



かもみーる通信

CONTENTS

- * 連続フォーラム
- * カモミール月暦
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * ぎふ清流参画ネット
- * カモミール クリスマス交流会
- * 保育園たより

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



連続フォーラム



2017年2月2日（木）に、岐阜大学で今年度の締めくくりとなるフォーラムを開催します。「『女性が輝く岐阜』に向けての大学の役割」と題し、基調講演に菅原 悦子 氏（岩手大学 理事）をお迎えし、平成28年度連携型共同研究の代表1グループによる成果報告、「大学COC、COC+事業による地域志向人材の育成と地元定着支援一リケジョの活躍に向けて一」と題して益川 浩一 岐阜大学地域協学センター長の講演もあります。昨年には女性活躍推進法も施行され、社会における女性の活躍が分野にかかわらず、喫緊の課題となっています。大学も企業も「女性の採用増」と「採用した女性をどう活かすか（上位職登用）」が、女性の自立のためだけでなく、今後、労働人口・若者人口の減少が確実である日本社会において、企業や大学が発展していくための重要な戦略となっています。本プロジェクトの目標である「女性が輝く岐阜による地方創生」の達成のために、「大学・企業が人を育て、地域を育てる」という観点から、今年度までのプロジェクトの総括も含めた議論を展開します。ぜひご参加ください。

『女性が輝く岐阜』に向けての大学の役割

日時：2月2日（木）15:00~17:10

場所：岐阜大学 講堂

基調講演

「地域創生に向けての女性の活躍と大学の役割
—岩手大学の取り組みから—」

岩手大学 理事（復興・地域創生・男女共同参画担当）・副学長 菅原 悦子 氏

対象：岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社の構成員、
男女共同参画にご関心のある一般の方



カモミール月曆（室長からのメッセージ）



副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

「女性も男性も共に働き共に育むことのできる社会」に向けて ——「清流の国ぎふ」の取り組み

岐阜大学男女共同参画推進室と人材開発部職員育成課が中心となって取り組んでいる男女共同参画推進のための諸活動につきましては、ホームページや「かもみーる通信」をはじめ、随時、チラシ・ポスター等の媒体でご紹介しています。

構成員の皆さんのご協力を得るとともにご参加を募る趣旨で、とくに広報に力を入れている取り組みとして、2015年度からの文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」が挙げられますが、その事業の補助金交付期間も、今年、最終年度を迎えます。これまで共同実施機関である岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社との連携につきましては、多々ご紹介してきましたが、今回は、岐阜大学がさまざまなかたちで連携を進めている、岐阜県子ども・女性局や商工労働部の取り組み（一部）についてご紹介しましょう。

岐阜県では、「女性も男性も共に働き共に育むことのできる社会」（全国知事会による提言）をめざして、2011年4月には、岐阜県版女性企業家サミットとして、32名の女性委員から成る「ぎふ女性経営者懇談会」を発足させました。岐阜県経済界における女性の活躍促進について議論し、2012年1月には「女性がさらに活躍できる『ぎふ』を目指して」と題する提言をまとめました。私自身、委員のひとりとして参加し、異業種の方々から多々学ばせていただいています。



その提言を活かすかたちで、2011年以降、岐阜県では、仕事と家庭の両立支援に取り組む「岐阜県子育て支援企業」の中で、特に優良な取り組みや他社の参考となる独自の取り組みをおこなう企業を「岐阜県子育て支援エクセレント企業」として認定し、女性が継続して就労できる環境整備に取り組んでいます。その背景としては、就業を希望しながらも職に就いていない女性の潜在的労働者が岐阜県には10万人もいる（2012年総務省就業構造基本調査）ことや、女性の管理職比率が11.4%と全国で最も低い（2010年国勢調査）ことなどが挙げられます。

このような現状を受けて、昨年2016年11月12日（土）、岐阜県は、「女性の活躍支援センター」をふれあい福寿会館9階に開設しました。子育てや家庭と仕事の両立の相談窓口を用意するとともに、キャリアアップ講座の開催など、女性の活躍を支援することを趣旨としています。

さらに、12月14日（水）には、「清流の国ぎふ女性の活躍推進会議」が立ち上がりました。古田肇 知事をはじめとする行政、経済界、学識経験者23名の委員が一体となって「女性も男性も共に働き共に育むことのできる社会」をめざすことを趣旨としています。

具体的には、2020年までに25～34歳の女性の労働力率を83.9%、民間の女性管理職の比率を18.2%まで引き上げる目標値などを設定した計画の骨子も確認されたところです。その目標に向けて、「清流の国ぎふ女性の活躍推進会議」のもと、女性の労働力率が25～34歳で低下する「M字カーブ」の底上げや女性管理職登用、女性の活躍総合支援体制の3検討委員会を設置し、議論を深めてゆくことになっています。

私自身も「清流の国ぎふ女性の活躍推進会議」「女性の活躍総合支援体制検討委員会」の委員として、結婚・就労・子育て・介護などライフイベントに関するワンストップ支援体制の整備という課題に挑戦してまいります。

このような岐阜県の取り組みに参加することで、岐阜大学構成員の支援体制づくりに活かしてゆきたいと願っています。引き続き、皆様のご支援ご協力、どうぞよろしくお願いたします。



サイエンス夢追い人育成プロジェクト



(女子大学院生による出前講義)

12月5日(月)は、博士前期2年徳力明日香さんの出前講義が岐阜総合学園高校でおこなわれました。工学研究科環境エネルギーシステム専攻を修了予定の徳力さんは、高校生を飽きさせることなく、ときおり生徒にも問いかけるような、とても明るい講義をしてくださいました。自分の就職活動の経験を踏まえ、何事に関しても自分自身を知り、相手をよく調べることから始めようと伝えた徳力さんの講義に、生徒の皆さんも聞き入っていました。



▲ 徳力 明日香 さん



▲ 神戸 智代 さん

12月5日(月)は、岐山高校で二つの講義をおこないました。一つは応用生物科学研究科応用生命科学専攻 修士1年神戸智代さんの講義、もう一つは、工学研究科生産開発システム工学専攻 博士後期2年チャンツェグさんの講義でした。神戸さんは、自分の食品免疫学の研究を紹介し、「好きなこと」「興味があること」で学びたい分野を見つけようとアドバイスしていました。



▲ ナラン ツェツェグ さん

ナランさんは、モンゴル出身の留学生で、慣れない日本語での発表に苦勞し、何度も練習してこの講義の日を迎えました。モンゴルの紹介や自分の研究である洪水氾濫モデル用いた過去の水害状況の再現に関する研究の紹介、そして日本に留学するまでの自分の進路について紹介しました。



▲ 佐野 有希 さん

12月12日(月)にも、同じく岐山高校で二つの講義をおこないました。連合獣医学研究科獣医学専攻 博士2年の佐野有希さんの講義と、もう一つは、工学研究科環境エネルギーシステム専攻 博士後期2年張浚芳さんの講義でした。昨年から講義を担当している佐野さんは、自分の研究の進展状況も交え、冬眠に係るたんぱく質の研究を紹介し、「つまづいてもあきらめずに、そのたびに学んでいけばきっと夢は実現できる」とメッセージを送っていました。



▲ 張 浚芳 さん

中国出身の留学生の張さんは、「とても緊張する」と言っていたのですが、上手な日本語で講義をしていました。「知っているようで知らない中国」を紹介し、自分の研究テーマである「日射強度の予測精度を向上させる技術の開発」を説明したあと、「さみしいこともあるけど、日本で就職できるように頑張ります！」とにこやかに話していました。

12月7日(水)には、多治見高校で応用生物科学研究科応用生命科学専攻 修士1年の田中友理さんと、工学研究科生命工学専攻 博士前期2年の太田奈菜さんが出前講義を実施しました。田中さんは初めての挑戦で、練習を始めたころは緊張していましたが、練習を重ねた当日は堂々とした講義を披露してくれました。大腸がんきちんと届く新薬の開発の研究を紹介し、「人のいのちを支えたい」という自分の軸が明確だったからこそ、ここまでやってこれたのだと述べ、「みなさんも自分の軸を見つけてほしい」とコメントしていました。



▲ 田中 友理 さん

太田さんは、昨年に引き続き2年目の講義です。留学の経験や就職活動の際の自分の選択も紹介し、「あとでやろう、などと思わず、今できることはすぐに実行していこう」と生徒の皆さんにエールを送っていました。



▲ 太田 奈菜 さん

ぎふ清流参画ネット



男女共同参画推進室/人材開発部職員育成課では、例年、岐阜県内自治体の男女共同参画担当の方々との意見交換の場として、「ぎふ清流参画ネット」を開催しています。男女共同参画社会の実現のために社会全体で何が必要かを考え、さらに自治体ごとに有益な取り組み等を意見交換することによって、実現可能な活動や政策に結びつけることを趣旨としています。

ぎふ清流参画ネット
(岐阜県内自治体男女共同参画推進員交流会)

日 時：2017年2月2日（木）
13:00 ~ 14:35

場 所：岐阜大学 大学会館 第6集会室

対 象：県内各自治体の男女共同参画部の担当者等

申込方法：参加申込書にお名前、ご所属を記入のうえ、FAXまたはメールにて岐阜大学男女共同参画推進室にご届出ください。

締 切：2017年1月20日（金）

お問い合わせ先：岐阜大学男女共同参画推進室
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp
Tel: 058-293-3397
Fax: 058-293-3396



岐阜県内自治体男女共同参画意見交換会

日 時：2月2日（木）13:00 ~ 14:35
場 所：岐阜大学 大学会館 第6集会室

対象：県内各自治体の男女共同参画の担当者、岐阜大学構成員

12月21日（水）カモミール・カフェにて「クリスマス交流会」を開催し、林 正子室長、相原 征代特任助教をはじめ、教職員、学生など14名が参加しました。イタリアの代表的なクリスマス・ケーキ「パネトーネ」を囲んで、普段は交流することの少ない、様々な学部・学年に属する学生さんたちと、いろいろな経歴を持つ教職員の間での懇親会となりました。通常はあまりおしゃべりすることのない話題や、学生さんたちが悩んでいることなど、貴重な時間を共有することができました。多様な観点が交差し、さまざまに思いをめぐらす、まさに「ダイバーシティ」を実現する集いになったのではないのでしょうか。



保育園たより

クリスマス会

12月22日（木）

「すこやか」では大きな壁画を飾り、クリスマス雰囲気の中、鈴の音と共にクリスマスの歌を楽しくうたい、大きなリボン箱からプレゼントを貰いました。「ほほえみ」では、サンタさんが見守る中、手作り楽器のリズム遊びや劇遊びを披露して楽しみ、サンタさんからのプレゼントに大喜びの子ども達でした。

